# 8 申請書類

受験上の配慮の申請で使用する様式は、47ページ以降にとじ込んでいます。

受験上の配慮申請書等の申請書類は、記入後、必ずコピーを取り、志願票のコピーとともに、大切に保管しておいてください。申請書類は一切返却できません。

各種様式をホームページ (→裏表紙) からダウンロードして印刷する場合は、A4 用紙に印刷してください。 また、印刷は両面印刷・片面印刷のどちらでも構いません。

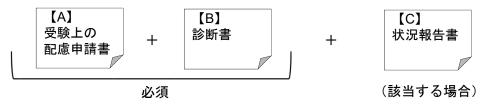
なお、配慮事項については、「**3** 受験上の配慮事項」(→6 ページ)、「**4** 受験上の配慮内容」(→12 ページ) を確認してください。

### 申請書類の注意事項・記入例等

	8-1	甲請書親の租合せ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ーン
	8-2	出願に当たっての注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37 ペー	ージ
	8-3	受験上の配慮申請書の記入上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・38 ペー	ージ
	•	【第1面】の記入方法及び記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【第2面】の記入方法及び記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【第3面】の記入方法及び記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【第4面】の記入方法及び記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	申請する配慮事項の第二希望について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【1.5 倍の試験時間延長を申請する場合】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【個室の設定(試験室に受験者1名)を申請する場合】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【C5】状況報告書(発達障害関係)の記入上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	Q	&A<申請書類について>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
_			
	申請	青に必要な様式	
	<b>[</b> Z]	】受験上の配慮出願前申請済届・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	[A	】受験上の配慮申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	<b>[</b> B	】診断書	
	•	【B1】(視覚障害関係) ・・・・・・・・・・・・・・・・・53 ペー	ージ
	•	【B2】(聴覚障害関係)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55 ペー	ージ
	•	【B3】(肢体不自由関係) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・57 ペー	ージ
	•	【B4】(病弱関係・その他)・・・・・・・・・・・・・・・・・・59 ペー	ージ
	•	【B5】(発達障害関係)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61 ペ・	ージ
	[C	】状況報告書	
	•	【C1】(試験時間延長(1.3倍)) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ージ
	•	【C2】(リスニング免除) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ージ
	•	【C3】(代筆解答) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ージ
	•	【C4】(別室の設定)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ージ
	•	【C5】(発達障害関係)・・・・・・・・・・71 ペ-	ージ

# 8-1 申請書類の組合せ

申請に当たっては、区分や希望する受験上の配慮事項により、次の所定の様式の「【A】受験上の配慮申請書」、「【B】診断書」、「【C】状況報告書」を組み合わせて提出してください。



### 【A】受験上の配慮申請書(→49~52ページ) 【必須】

申請書に希望する配慮事項を必ず全て記入してください。申請書に記入がない場合、申請事項として扱われないため審査の対象となりません。

未記入の面がある場合も、第1面から第4面まで全て提出してください。

### 【B】診断書(→53~62ページ) 【必須】 (注 1)

区分に対応した様式の診断書を提出してください。

区 分	使用する様式	掲載ページ
視覚障害	【B1】診断書(視覚障害関係) (注 2)	53 • 54
聴 覚 障 害	【B2】診断書(聴覚障害関係)	55 • 56
肢体不自由	【B3】診断書(肢体不自由関係)	57 • 58
病弱・その他	【B4】診断書(病弱関係・その他)	59 • 60
発達障害	【B5】診断書(発達障害関係)	61 • 62

### 【C】状況報告書(→63~72ページ) 【以下に該当する場合に提出】

希望する配慮事項が(ア)のいずれかに該当する場合には、それぞれに対応した様式の状況報告 書を提出してください。複数該当する場合には、該当するものを全て提出してください。

ただし、区分が「発達障害」の場合には、希望する配慮事項にかかわらず、(イ)のみ提出してください。

(ア) 以下の「希望する配慮事項」に対応した様式の状況報告書を提出してください。

希望する配慮事項	使用する様式	掲載ページ
試験時間延長(1.3 倍)	【C1】状況報告書 (試験時間延長 (1.3 倍) ) <b>(注3・4)</b>	63 • 64
リスニングの免除	【C2】状況報告書(リスニング免除)	65 • 66
代 筆 解 答	【C3】状況報告書(代筆解答) (注 4)	67 • 68
別 室 の 設 定	【C4】状況報告書(別室の設定) (注 5)	69 • 70

#### (イ) 区分が「発達障害」の場合には、<u>必ず提出</u>してください。

#### ((ア)の状況報告書を提出する必要はありません。)

区 分	使用する様式	掲載ページ
発 達 障 害	【C5】状況報告書(発達障害関係) (注 4)	71 • 72

- (注1) 杖の持参使用のみを希望する場合は、「【A】受験上の配慮申請書」の提出は必要となりますが、「【B】 診断書」の提出は必要ありません。
- (注2) 点字解答希望者については、「【B1】診断書(視覚障害関係)」に代えて、「校長による点字学習の証明」(任意の様式)でも可能です。
- (注3) 代筆解答希望者で,試験時間の延長(1.3倍)を申請する場合には,「【C3】状況報告書(代筆解答)」に試験時間の延長を必要とする理由を記入するため,「【C1】状況報告書(試験時間延長(1.3倍))」を提出する必要はありません。
- (注4) 1.5倍の試験時間延長を申請する場合には、「【A】受験上の配慮申請書」、「【B】診断書」、「【C】状況報告書」に加えて、1.5倍の試験時間延長の必要性が分かる「具体的な理由」や「これまでの取組み」等を示した資料(任意の様式で学校長又は専門家が作成したもの)を提出してください。(具体的な理由やこれまでの取組みが示してあれば、個別の教育支援計画・個別の指導計画の写しでも可能です。)
- (注5) 別室での受験を希望する場合には、「【C4】状況報告書(別室の設定)」の提出が必要です。 ただし、希望する配慮事項のうち、点字・文字・チェック・代筆解答、試験時間延長、拡大文字 問題冊子(22ポイント)の配付、CDプレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方式及びリスニン グにおいて途中退室するため音声を一時停止する配慮(別室において配慮する事項)を申請する場 合は、提出する必要はありません。

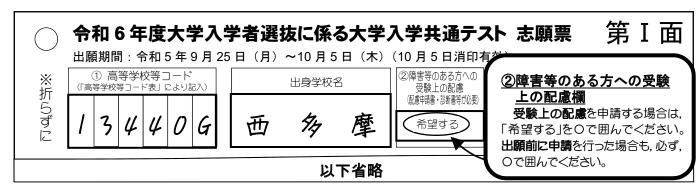
#### 【備考】

病気・負傷や障害等の種類と程度や希望する配慮事項によっては、十分な審査を行うため、大学 入試センターから追加で書類等の提出を求める場合があります。

### 8-2 出願に当たっての注意事項

① 志願票の記入方法

「志願票」(受験案内に添付)では、「障害等のある方への受験上の配慮」欄の「希望する」を〇で囲んでください。



② 「【Z】受験上の配慮出願前申請済届」(→47ページ)の提出

提出対象者:出願前申請期間(8月1日(火)~9月22日(金))に受験上の配慮を申請した者提出方法:「志願票」(受験案内に添付)とともに出願時(9月25日(月)~10月5日(木))に提出

- ※ 出願時に受験上の配慮を申請する者は提出しないでください。
- ※ この申請済届のみで受験上の配慮を申請することはできません。

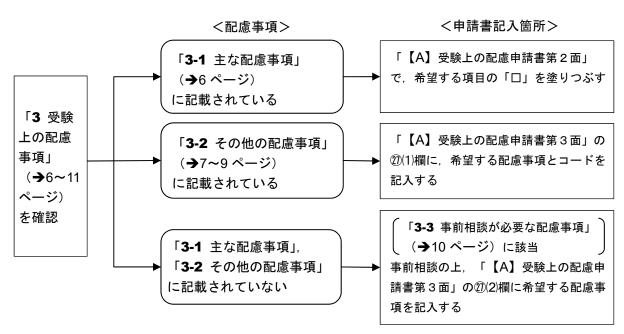
### 8-3 受験上の配慮申請書の記入上の注意

「【A】受験上の配慮申請書」の記入に当たっては、次の事項をよく読んで記入してください。

(1) <u>卒業見込者については</u>, 志願者, 保護者, 担当の教員(学級担任等)等で相談の上, 記入してください。

なお、「【A】受験上の配慮申請書第1面」の②・⑩欄については学校において記入する必要がありますが、その他の項目は志願者本人、保護者、又は担当の教員(学級担任等)等のいずれかが記入してください。

- ※ 「②整理番号」欄は、学校で取りまとめる志願票と同じ整理番号を学校において記入。(出願前に 申請する場合は記入不要。)
- ※ 「⑩校長名・記載責任者名・記載責任者の連絡先」欄は、校長の署名又は職印の押印、担当の教員(学級担任等)の氏名・電話番号・FAX番号・メールアドレスを記入。
- (2) 卒業見込者以外の者については、志願者と保護者等が相談の上、記入してください。
  - ※ 「②整理番号」欄は記入不要。
  - ※ 「⑩校長名・記載責任者名・記載責任者の連絡先」欄は、申請書を記入した者の氏名・電話番号・ FAX番号・メールアドレスを記入。(校長名は記入不要。)
- (3) 次のページの各欄の記入方法を参照して、**太枠の中のみ、黒のボールペン**で丁寧に記入してください。誤って記入した場合は、誤記部分に二重線を引き、訂正してください。
- (4) 希望する配慮事項の記入に当たっては、下図を参照してください。



- (5) 希望する配慮事項として審査の対象となるのは、「【A】受験上の配慮申請書」に記載のある事項です。「【B】診断書」、「【C】状況報告書」等のみに記載している事項については、申請事項として扱われないため審査の対象となりません。
- (6) 出願前申請において不許可となった事項について、再度、出願時に同様の症状で申請することはできませんので、「【A】受験上の配慮申請書」、「【C】状況報告書」の記入に当たっては、漏れや不備がないよう十分に注意してください。

8

申

書

で 全 て 提

し

てください

### ①高等学校等コード欄

【高等学校等コード表】(受験案内 57~ 75ページ参照)により記入してください。

※ 太枠の中のみ、黒のボールペンで丁寧上記入してください。



②整理番号 10 ١ 8

高等学

②整理番号欄

卒業見込者のみ、学校において記入してください。学校 で取りまとめる志願票と同じ整理番号を記入してくださ い。(出願前に申請する場合は、記入不要です。)

カタカナ記入 (姓と名の間は1マ ミラ (6) フ Η 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 氏 漢字等記入(できるだけ、志願者が自筆で記入してください。)

未

〈 験 上 の 配 盧

面

が あ

る

場

合で

ŧ

③出身学校名

多 塺 两

4)卒業見込み 卒業見込み 卒業2 卒業の別

全日制又は ⑤課程

※住所は都道府県から記入してください。

⑨志願者の 現住所・ 電話番号 **₹| 1||9||3|--|0||0||2||1** 東京都駒場市大学町5-

捏 ⑨志願者の現住所・電話番号欄

駒

緊急に連絡する場合に必要となりますので,必ず記入してください。 団地、アパート等の場合は、棟番号、戸番まで記入してください。記入す る現住所は、志願票に記入するものと同じ住所を記入してください。

来

なお、出願後に、氏名、現住所、電話番号に変更があった場合は、大学 入試センターに郵送で届け出る必要があります。詳しい届出方法は、受 験案内の35ページで確認してください。

9 - 23

03 - 3465 - 8600 電話番号

⑩校長名・記載責任者名・記載責任者の連絡先 ※卒業見込者の場合は,担当教員の氏名を記入してください ※卒業見込者以外の者の場合は,申請書の記入者が署名してください。 西多摩 西多摩高等学校長 志願者との関係・氏名 校長名 卒業見込者 以外の者は 高等学 責任者名 不要 校長印 目黒 花子 担任 電話番号 03 -3465 - 86 03 3465 - 86▲▲ 記載責任者の連絡先 ※申請内容の確認のため

「点字解答」・「代筆解答」・「拡

メール

① 「点字解答」

連絡する場合があります。

国語

教科

黒のボールペンで塗りつぶしてくださ

地理歷史

⑩校長名・記載責任者名・記載責任者の連絡先欄

卒業見込者の場合は、学校において校長の署名又は職印を押してくださ い。記載責任者名の欄には教員(学級担任等)の氏名を記入してください。 卒業見込者以外の者の場合は、申請書を記入した者が記載責任者名の欄に 署名してください。

また、申請内容について記載責任者に連絡をする場合があるので、連絡先

									7	ŧſ	并セ	とて	記え	し	て	< t:	ごさ	い。	,												
科目	囲 牊	世界史A	世界史B	日本史《	日本史B	地理 A	地理 B	現代社会	倫理	尚 治 ・経済	理、政治・経済	9	ダー・数学 A	文学	数学 II ・数学 B	#記・会計	報関係基礎	理基礎	1.学基礎	- 物基礎	"学基礎	理	学	一物	学	八語	- イツ語	ランス語	国語	国語	-
	1	1	2	3	4	5		7	8	9	Α	1	2	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	
	155					156	157	_				15	8		15	59			160	- 161			162	163				164			

※「障害等の種類と程度」及び「受験に際して希望する配慮事項」は、第2面以降に記入してください。 記入の済んだ申請書はコピーを取り、志願票のコピーとともに大切に保管しておいてください。

大学入試センター記入欄 1

### ⑪「点字解答」・「代筆解答」・「拡大文字問題冊子(22 ポイント)の配付」を希望する者の受験科目欄

「点字解答」・「代筆解答」・「拡大文字問題冊子(22 ポイント)の配付」を希望する者は、受験しようとする科目 の「□」の中を黒のボールペンで塗りつぶしてください。

点字解答を希望する者の試験場は、試験地区区分表(受験案内34ページ参照)にある当該試験地区内に 1か所設定します。

独立行政法人大字人試センタ

### 【第2面】の記入方法及び記入例

# [A]

### 令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験上の配慮申請書 第2面(2/4)

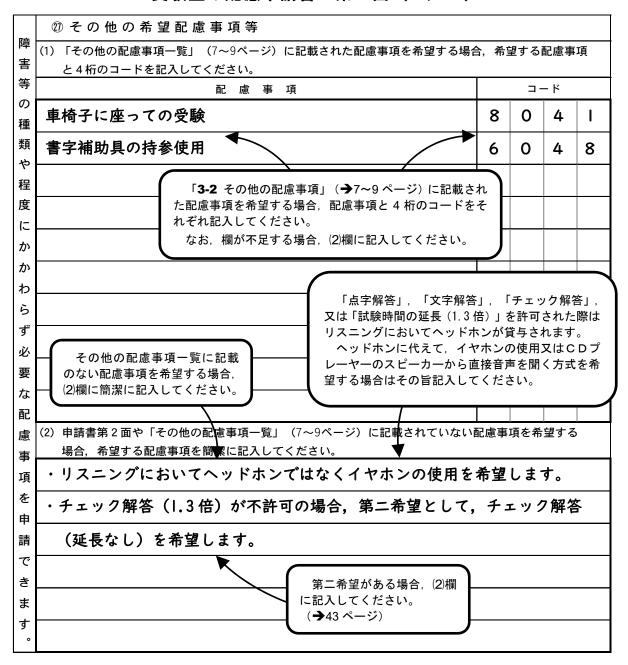
※ 該当する「□」の中を、黒のボールペンで塗りつぶしてください。(塗りつぶすのが難しい場合は、レなどチェックで表示してください。)

	. 障	害等	の種	類	ا ح	崖 月	₹											
			<u> </u>	16 視	覚 障	害						①聴	覚障害					
	ピによる教 ÷受けてい		!力がおおむね :鏡等の使用に				機能障害が高 等の使用によ				両耳のエレベルが	☑均聴力	左記以外で聴覚に関する配慮を					
る者		の文字, 図形	等の視覚によ 困難な程度の	る認識が不	下可 常の	, 弧八號 文字,図 可能又は	形等の視覚に	よる認識	必要とす	る者	Fの者		必要とする者			$\neg$		
							<b></b>			<b>声 寺</b> (	<b>の種類</b> ○「□ □		<u>: <b>皮 (喇</b></u> りつぶして	-	゛さに	\		
				_/	4			IX -1			-			. \ /\ <del> </del>		ر		
	297		298				299		30	JU	,	101	302					
		18 肢	<b>*</b>	自 由			1	9 病	弱		20発達障	害	②その他	!				
	の機能障害			支の機能障		以外で		<b>呼吸器疾患</b>			障害、注意ク		その他の病					
とか	座位を保つ  「できない者  難な者		『できな るこ	り歩行を とができ 又は困難	なに関	不自由 する配 必要と	等の状態	歳疾患,消 態が継続し 見制を必要	て医療又	ルガ	害,自閉症, 一症候群, D 害等のため面	汎性発	気による体 調不良等で 配慮を必要					
100 11	1X1.0 H	者	<b>★</b>   **	A LOUIS AND A LOUI	する			えばこれに			する者	J.E. C. Z.	とする者					
7	<u>(23)</u> ~(2	26) 受験	に際し	て希は	望する	る配	慮事項	欄		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		$\supset$	309					
ı			<u>て</u> 希望す						ぶし	てくけ	<b>ごさい</b> 。							
		点字	解答(別室)		点字器		文字解	2答(別室	)		- 世十十六四明	5 M Z A	0.4					
障害	23)		時間1.5倍延長		<del>等の</del> 試 験場で の保管		試験時間1.36		延延				」, 「文章					
等	視覚に 関する	リスニン連続方式	グの実施方式	※ 1 め方式	O IN E	連続	リスニング	の実施方式音	107				l.3倍)」, 間の延長					
Ø	配慮事項	CDプレーヤー、ヘッ	ドホン CDプレーヤー	-, ヘッドホン		ICプレーヤー 	、ヘッドホン CDプリ	<b>/</b> ₹-, <b>/</b> y	ドホン へ	9 n			画の建設 ングの実施					
種		<u>_</u> 1	310	2	311		312	<u> </u>		31		どち	らか) を選	軽択し	,, 塗	りつ	ぶしっ	てくだ
類や		手話通訳士	注意事項等	座席を	補聴器	y <b>z/</b> =	リスニ	ングにおけ	る音声聴	取	さい。		ガ太巫昤	ı <i>†</i> >ı	1、4旦。	<b>△</b> +	じナ i	こかた
程		等の配置+ の文書によ 前列に 注意事項等 る伝達 指定			又は人 工内耳	人 グの スプレーヤーの 補助 涂りつごしてくださし									יסם	<b>こり</b> ,	つかを	
度	②9 聴覚に				の装用	ドホンの 直接音声を聞く ヤホン 持参使用 方式 (リスニン 使用												
ıc	関する 配慮事項			1			持参使用	5式(リス	ニン 使	<b>'</b> *>	したコードを	:		_ · ·				_
か		l □1	<del></del>	+	_		持参使用	ち式(リス ブのみ別室	ニン 使	/ホン i用	接続							
か			19	320	321	322	持参使用	5式(リス	ニン 使	/ホ 注用 □3	接続	誤っ	て塗りつ	ぶし	た場 <sup>・</sup>			直線 —
b			□ <b>2</b> 19 チェック解	320 (別室)	321	322	持参使用	ち式(リス ブのみ別室	ニン (使 !)	/ホン i用	接続 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	誤っ	て塗りつき, 訂正し	ぶし	た場 <sup>・</sup>			直線
わら		3	19	(別室)	321	322	持参使用	方式(リス プのみ別室 □ 2	.ニン (使 ) ! 別室)	□3 32 試験時	接続 は験 の付添え	誤っ		ぶし	た場 <sup>っ</sup> ださ			
		試験	19 チェック解答 時間1.2 告延長 スニングの実施	(別室) 長 施方式 ※	321 試験時間 延長なり	322	持参使用 化 試験 情間 リ	f式(リス プのみ別室 【筆解答( 1.3倍延長 スニングの	別室)	32 試験時な	接続 は験 が の付添れ	誤っを引き	き、訂正し	ぶし: ,てく	た場: ださ ***********************************	しい <sub>o</sub> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		
ら ず 必		試験	19 チェック解答 時間1.2 告延長 スニングの実施	を (別室) を (別室) を 方式 ※ め方式	321 試験時 延長なし	322	持参使用 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	f式(リス プのみ別室 □ 2 大筆解答( 1.3倍延長 スニングの 音止&	ニン (使) (別室) (実施方式) (カ方式)	□3 32 試験時	接続 は験 の付添え	誤っを引き	き、訂正し	ぶし: ,てく	た場が ださ 大学 350 351	<b>し</b> へ。	ター記入	
らず必要	您 不自	試験	19	を (別室) を (別室) を 方式 ※ め方式	321 試験時間延長なり 1 ICプレー・1 ヘッドホ	322	持参使用	「大宝 (リスティのみ別室 2 を 1.3倍延長 スニングの 音止と CDブレーヤー	ニン (使) (別室) (実施方式) (カ方式)	ボボース 33 試験時な CDプレースピーカ	接続は験があります。	誤った引きの同伴	↑助表の配置 ↑助表の配置 ※2	ぶし: ,てく	た場: ださ ***********************************	上入試セン	ター記入	
ら ず 必	肢体不自 由・病弱 に関する	連続方式にプレーヤー、ハン	19 チェック解答 時間1.8倍延長 リスニングの実施 音止・ ドホン CDプレーヤー	(別室) 長 施方式 ※ め方式 ヘッドホン <b>2</b>	321 試験時間延長なり 1 1Cプレーヤ ヘッドホ	322 間 レ アー ン coプレ	持参使用 (1) 1 (1) 試験 所間 リ 連続方式 ーヤー・スピーカー	5式 (リスタ) (リスタ) (リスタ) (リスタ) (リスタ) (サイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ニン (使) 別室) 実施方式 り方式 . スピーカー ] 2	************************************	接続	誤っを引き を引き	テ、訂正し 介助者の配置 ※ 2 □ 333	ぶし: ,てく	た場・ ださ 大学 ② 350 351	上へ の	ター記入	
らず必要な	肢体不自 由・関・ に関事る 配の他の	試験 !! : : : : : : : : : : : : : : : : : :	19	(別室) を方式 ※ め方式 ※ め方式 ヘッドホン 1階又はコペーター	321 試験時間 延長な 1 ICプレー・1 ヘッドホ	322 間 レ アー ン coプレ	持参使用 2 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	5式(リス室 「大筆解答( 1.3倍延長の コングの コンが	ニン 使 別室) に 実施方式 か スピーカー	***	接続    3    3    3    3    3    3    3	誤った引きの同伴	テ、 <b>訂正し</b> 介助すの配置  ※2  □  333  リスニングにおいて途中退室す	ぶし: ,てく	た場・ ださ 大学 350 351 355	上、	ター記入	
らず必要な配	肢体不自 由・病弱 に関する 配慮事項,	試験	19 チェック解解 時間1.2 倍延 引 フスニングの実施 フスニングの実施 フスニングの実施 での受験 に近い 陸書者	(別室) 機 施方式 ※ め方式 ヘッドホン 2	321 試験長 1 ICプレーヤ ヘッドホ 場子の 用	322 間 レ アー ン CDプレ 机・	持参使用 1 は	5式 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス) (リス) (リス) (リス) (リス) (リス) (リス) (リス)	ニン (使) 別室) 実施方式 カーフェーク 大の持	ホース 32 32 32 33 33 33 33 33 1 試験場	接続 は験 (3) は (3) は (4) で	誤った引きの同伴 32 別室の	介助すの配置       プ2       口       333       リスニングにお	ぶし: ,てく	た場が ださ 大学 350 351 355 359 363	こし、。	ター記入	
らず必要な配慮事項	肢体不自 由・関・ に関事る 配の他の	試験 ! : : : : : : : : : : : : : : : : : :	19 チェック解答 時間1.3名延月 スニングの実施 音止 ドホン ロブレーヤー [ 328	(別室) (別室) (別室) (別室) (別室) (別室) (別では、 (大力で ) (大力で )	321 試験時間 延長な 1 ICプレー・ ヘッドホ コ 329	322 間 レ アー ン CDプレ 机・	持参使用 2 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	5式(リス室 「大筆解答( 1.3倍延長の コングの コンが	ニン (使) 別室) 実施方式 カーフェーク 大の持	ホ 用 32 試験長 CDプビーカ 331 試験の車で	接続 は	誤った引きの同伴 32 別室の	↑ 助すの配置  ↑ 助すの配置  2 333  リスなのでは、   コンクで、   はなって、   のので、   コンクで、   コント・   コ	ぶし: ,てく	た場が 大学 350 350 353 363 363	<b>し</b> へ。	ター記入	
らず必要な配慮事	肢体不自 由・関・ に関事る 配の他の	試験   連続方式   1   1   1   1   1   1   1   1   1	19 チェック解解 時間1.2 倍延 引 フスニングの実施 フスニングの実施 フスニングの実施 での受験 に近い 陸書者	(別室) (別室) (別室) (別室) (別室) (別室) (別では、 (大力で ) (大力で )	321 試験時 1 ICプレーホ ウッドホ 学子用 ※3	322 間 レ アー ン CDプレ 机・	持参使用 1 は	5式 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス)室 (リス) (リス) (リス) (リス) (リス) (リス) (リス) (リス)	ニン (使) 別室) 実施方式 カーフェーク 大の持	ホ 用 32 試験長 CDプビーカ 331 試験の車で	接続 は	誤った引きの同伴 32 別室の	↑ 助すの配置  ↑ 助すの配置  2 333  リスなのでは、   コンクで、   はなって、   のので、   コンクで、   コント・   コ	がし、 がし、 てく	た場・ たささ 350 351 355 363 367 371 375 379	上 No a	ター記入	
らず必要な配慮事項を	肢体不自 由・関・ に関事る 配の他の	は 連続方式 に ブレーヤー、へ  ■1  ト  大  大  大  大  大  大  大  大  大  大  大  大	サエック解析 サエック解析 時間1.2 に延り フスニングの実施 フスニングの実施 フスニングの実施 ででの受験 はに近い での受験 は、 降書者	(別室) を方式 ※ め方式 ※ め方式 が カット・ハース ・	321 試験時間 延長な1 1 1Cプレーホ コンプッドホー 327 4子の ※33	322 間 レ アー ン CDプ 机持 を使	持参使用 は は 連連続方式 ボースビーカー 1 3 特製の試のでの 3 特別の試のでの ※ 3	まずの分別 (リ別室 (リ別室 ) (リ別室 ) (リ別室 ) (リ別室 ) (リ別室 ) (リ別で ) (リカマ ) (リカマン ) (リカアン )	ニン     (付)       別室)     :       実施方式     カースピーカー       力     つの使用	ホース 32 33 33 1	接続 は	誤り ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	↑ 助すの配置  ↑ 助すの配置  ※ 2  333  リスニニック・退声を入り、 におする たき の の み 別 室 と の み 別 室 と の み 別 室 と か と か と か と か と か と か と か と か と か と	がし、 がし、 てく	た場。 大学 350 351 355 363 367 371 375 379 383	し、 う 1	ター記入	
らず必要な配慮事項を申	肢体不自 由・関・ に関事る 配の他の	議験	19 チェック解答 時間1.8 倍延月 フスニングの実施 1スニングの実施 328 ここ近い での受験 はこ近い 降書者	(別室)  (例室)  (を	321 試験時間 延長な1 1 1Cプレーホ コンプッドホー 327 4子の ※33	322 間 レ アーン coカ 机・ 輪 棒 を 使	持参使用 は は は は は は は に に に に に に に に に に に に に	5式 み 別 室	ニン (d)	ホース 32 33 33 1	接続 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	誤う (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	↑ 助すの配置  ↑ 助すの配置  ↑ 以 2  333  リスニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がし、 がし、 てく	た場・ たささ 350 351 355 363 367 371 375 379	た	ター記入	
らず必要な配慮事項を申請でき	肢由に配そ配慮の項目弱る項の項	はいます。	サエック解析 サエック解析 時間1.2 に延り フスニングの実施 フスニングの実施 フスニングの実施 ででの受験 はに近い での受験 は、 降書者	(別室)  (別室)  (あ方式 ※ あ方式 ※ あった。	321 試験時間 延長な1 1 1Cプレーホ コンプッドホー 327 4子の ※33	322 間 レ ン ン の が 格 検 を し る る る る る る る る る る る る る る る る る る	持参使用 は は 連連続方式 ボースビーカー 1 3 特製の試のでの 3 特別の試のでの ※ 3		ニン (使) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対) (対	ホース 32 32 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	接続 は	誤り 332 別設定 342 注の 36 信の 36 信か	介助すの配置  介助すの配置  333  リスを対した。 コースを対した。 コースを持った。 コースを持った。 コースを持った。 コースを対した。	がし、 がし、 てく	た場った。 大学 350 351 355 363 363 367 371 375 383 383 387	し、 う 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ター記入	
らず必要な配慮事項を申請できま	肢由に配そ配 遠発に の発に の発に の の で で で で で で で で で で で で で で で で で	は	19 チェック解を 時間1.8倍延長 スニングの実施 音止に近いでの実験 にに近い での実験 は、 18年	(別室) ( (別で) (	321 試験時な 1 1 (Cブットホークリットホークリットの) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	322 間 し フ い が が が が が り 式 た う た り こ う た う た う た う た う た う た う た う た う た う	持参使用 (イ) (計画 大) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	大筆 解 答 任 長 の かん を で	ニン (d)	ホース 32 試験長 レーナ 331 試験の車入 4 340 拡大 文 5	接続 は	誤り (32 ) 第一	↑ 助すの配置  ↑ 助すの配置  ↑ 以 2  333  リスニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がし、 がし、 てく	た場・ 大学 350 351 355 363 367 371 375 379 383 387 391	し、	ター記入	
らず必要な配慮事項を申請できま	肢由に配そ配	は	19 チェック解を 時間1.3名延月 スニングの実施 スニングの実施 スニングの実施 での受験 に近近映験 に近近映験 は、 (別) 時間 3.42 に近近映像書者 2.62 2.62 2.62 2.62 2.62 2.63	(別室) ( (別で) (	321 試験時な 1 1 (Cブットホークリットホークリットの) (2) (2) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	322 間 リ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ カ ス フ ト フ ス フ ス フ ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	持参使用 (イ) (計画 大) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	大筆 解 答 任 長 の かん を で	ニン (使 別室) 実施方式 カ ↑ ス 2	ホース 32 32 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	接続    3	誤り (32 ) 第一	↑ 助すの配置  ↑ 助すの配置  ↑ 以 2  333  リスニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がし、 がし、 てく	た場。 大学 350 351 355 359 363 367 371 375 383 387 387 383 387 395	た入試セン 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ター記入	

- ※1 <u>リスニングの音声をヘッドホン以外で聴取したい場合</u>は、該当する「□」を塗りつぶした上で、申請書第3面の ② (2)に希望する聴取方法を記入してください。
- ※2 試験室における介助者の配置を希望する場合は、希望する介助内容等について申請書第4面に記入してください。
- ※3 特製机・椅子や車椅子の使用を希望する場合は、その規格等について申請書第4面に記入してください。

# 

# 令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の配慮申請書 第3面(3/4)



#### 3. 受験に際して配慮を希望する理由

受験に際して配慮を希望する理由(症状及び学校等の授業での状況等)を記入してください。

- ・頭部を支える筋力が弱く重みのあるヘッドホンの装着は困難なため, リスニングではイヤホンの貸与を希望します。
- ・その他の事項の理由については診断書及び状況報告書に記載のとおりです。

「【B】診断書」や「【C】状況報告書」に記載の ある内容については記入する必要はありません。

※ 受験上の配慮の申請のために提出された書類は一切返却できませんので、注意してください。

独立行政法人大学入試センター

### 【記入例1】車椅子の持参使用・特製机の試験場側での準備・介助者の配置を希望する場合

### 〈車椅子の規格〉

全長 105cm, 幅 61cm, 肘掛けの高さは 65cm

<試験場側で準備してほしい特製机の規格> 右記のとおり。

机の奥行きは問いません。

してください。 70~80cm

普段使用しているものなどを

参考に、使用可能な範囲を記入

〈希望する介助内容〉

介助内容については、どこまでの介助 が必要になるか記入してください。

試験時間中にトイレに行く際、車椅子から便座までの移乗のときに支えてほしいです。 (衣類の着脱等の介助については不要です)

### 【記入例2】音の鳴る機器の使用・座席の位置の指定を希望する場合

### 〈補聴器について〉

補聴器の電池が切れる際にアラーム音が鳴ります。

音の大きさは、授業中に隣の席の人が気付く程度の大きさで、 ▼ アラームが鳴った際は電池を交換する必要があります。

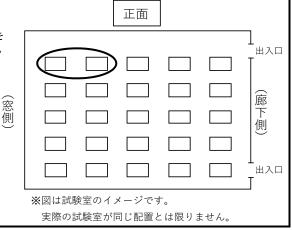
音量については試験当日の周囲 への影響がわかるように記入して ください。

#### (座席記入欄)

「座席の位置を指定」を希望する場合、「その他の配慮事項」(7ページ)を 参考にして、希望する座席位置を記入するとともに、右に図示してください。

右耳の方が聞こえやすいため,

- ・座席を試験室正面に向かって左側に指定
- ・座席を最前列に指定



独立行政法人大学入試センター

8

### 申請する配慮事項の第二希望について

申請書類の提出は一度のみとなり、また大学入試センターで審査の上決定した配慮事項については 再審査を行わないため、第二希望の配慮事項を申請することができます。

申請する配慮事項に第二希望がある場合は、「【A】受験上の配慮申請書第3面」の②(2)欄に記入してください。

特に次の①~③の配慮事項を申請する場合は、第二希望を記入してください。(第二希望がない場合は、「第二希望なし」と記入してください。)

① 「個室の設定(試験室に受験者1名)」

例:「別室の最後列で受験」を第二希望とする場合

【A】受験上の配慮申請書第3面②(1)

【A】受験上の配慮申請書第3面②(2)

②その他の希望配慮事項等		(2) 申請書第2面や「その他の配慮事項一覧」 (7~9ページ) に記載されていない面
(1) 「その他の配慮事項一覧」 (7~9ページ) に記載された配慮事項を希望する場合と 4 桁のコードを記入してください。	合,希望する配慮事項	場合,希望する配慮事項を簡潔に記入してください。
配 慮 事 項	3-K	・個室が不許可の場合,
個室の設定	1001	第二希望は,別室の最後列の席。
		第三希望は,一般試験室の最後列の席。
		<b>\</b>

第三希望以降も申請可能です。

### ② 「試験時間延長」

例:「別室の設定」を第二希望とする場合

【A】受験上の配慮申請書第2面

マークシート解答(別室)									
試験時間1.3倍延長									
リスニングの実施方式 ※ 1									
連続方式 ICプレーヤー, ヘッドホン	音止め方式 CDプレーヤー, ヘッドホン								
<b>■</b> 1	□2								
344									

### 【A】受験上の配慮申請書第3面②(2)

- (2) 申請書第2面や「その他の配慮事項一覧」(7~9ページ)に記載されていない配場合、希望する配慮事項を簡潔に記入してください。
  ・試験時間延長が不許可の場合です。 第二希望として別室での
- ・試験時間延長が不許可の場合でも,第二希望として別室での

受験を希望。

### ③ 「リスニングの免除」

例:「CDプレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方式」を第二希望とする場合

【A】受験上の配慮申請書第2面

座席を	補聴器	リスニ	リスニングにおける音声聴取の方法(どれた											
前列に 指定	又は人 工内耳 の装用	ングの 免除	イヤホン 又はヘッ ドホンの 持参使用	CDプレーヤーの スピーカーから 直接音声を聞く 方式 (リスニン グのみ別室)	補聴器を 外してイ ヤホンを 使用	補聴耳 クレた 接続								
			<b>□</b> 1	□2	Пз	Г								
320	321	322	323											

#### 【A】受験上の配慮申請書第3面②(2)

- (2) 申請書第2面や「その他の配慮事項一覧」 (7~9ページ) に記載されていない配場合, 希望する配慮事項を簡潔に記入してください。
- ・リスニングの免除が不許可の場合、補聴器を付けたままCDプ

レーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方式。

第二希望の配慮事項の「□」を塗りつぶす必要はありません。

### 【1.5倍の試験時間延長を申請する場合】

### 【A】受験上の配慮申請書【第2面】(抜粋)

1.5倍の試験時間延長を希望する場合でも、「文字解答」、「チェック解答」、「代筆解答」又は「マークシート解答」試験時間1.3倍延長欄の<u>いずれか一つ</u>の「ロ」を塗りつぶしてください。

					,		_		,
文	字解答(別室)	チェ	ック解答(別室)		代	筆解答(別室)		マークシート	解答(別室)
試験時間1	. 3倍延長	試験時間1	. 3倍延長	Ī	試験時間1	. 3倍延長		試験時間1	. 3倍延長
	グの実施方式 ※	リスニ	√グの実施方式 ※		IJ,	ニングの実施方式		リスニングの実	施方式 _ <u>※ 1 、</u>
連続方式		連続方式 にプレーヤー, ヘッドホン	音止め方式 <sup>CDプレーヤー, ヘッドホン</sup>	1	<b>連続方式</b> CDプレーヤー, スピーカー			<b>連続方式</b> Cプレーヤー, ヘッドホン	音止め方式 <sup>CDプレーヤー, ヘッドホン</sup>
	<b>□2</b>	_ı	<b>3</b> 2	; [	<b>□</b> 1	<b>□2</b>	I	<b>□</b> 1	<b>□</b> 2
31	2	32	28 (345)		33	30	ſ	34	14

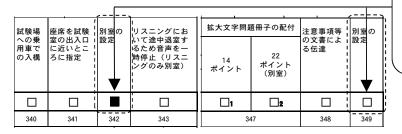
#### 

「【A】受験上の配慮申請書第3面」の「②その他の希望配慮事項等」欄の(1)に左図のとおり記入してください。

また、1.5倍の試験時間延長の必要性が分かる「具体的な理由」や「これまでの取組み」等を示した資料(任意の様式で学校長又は専門家が作成したもの)を提出してください。(具体的な理由やこれまでの取り組みが示してあれば、個別の教育支援計画・個別の指導計画の写しでも可能です。)

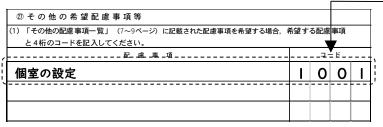
# 【 個室の設定(試験室に受験者1名)を申請する場合】

#### 【A】受験上の配慮申請書【第2面】(抜粋)



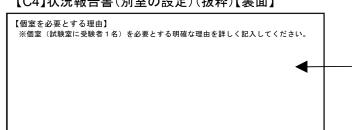
個室の設定を希望する場合でも、 ③肢体不自由・病弱に関する配慮事項、 その他の配慮事項の「別室の設定」又は、 ⑥発達障害に関する配慮事項の「別室の設定」の いずれか一つの「□」を塗りつぶしてください。

#### 【A】受験上の配慮申請書【第3面】(抜粋)



「【A】受験上の配慮申請書第3面」の「②その他の希望配慮事項等」欄の(1)に左図のとおり記入してください。

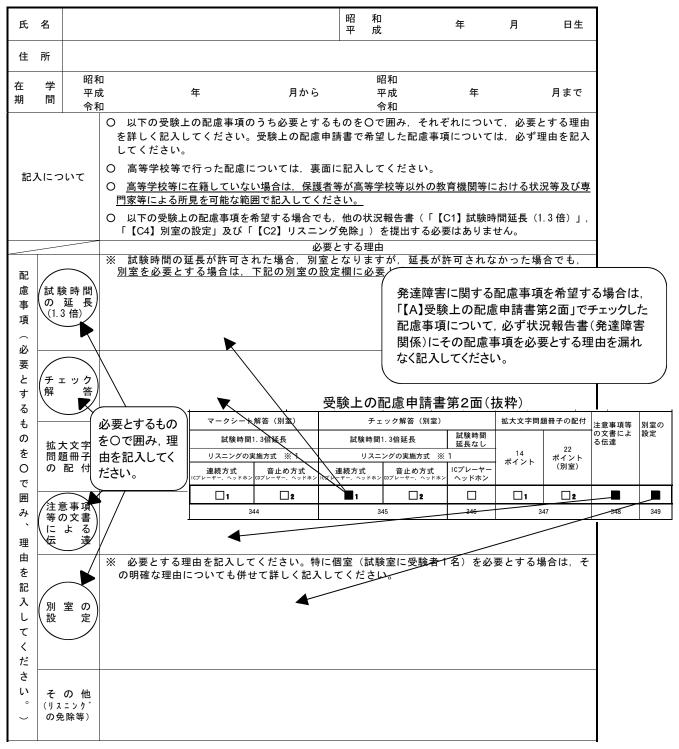
#### 【C4】状況報告書(別室の設定)(抜粋)【裏面】



個室を必要とする明確な理由を「【C4】状況報告書(別室の設定)」裏面の「個室を必要とする理由」欄に記入してください。

## 【C5】状況報告書(発達障害関係)の記入上の注意

# 【C5】 状況報告書(発達障害関係)



## Q&A<申請書類について>

- **Q1** 「【A】受験上の配慮申請書第3面」の「3. 受験に際して配慮を希望する理由」欄には どのようなことを記入すればよいですか?
- ▲ 病気・負傷や障害等の症状及び学校等の普段の状況(授業中に受けている配慮等)など、受験 上の配慮の申請が必要な理由を記入してください。

ただし、「【B】診断書」や「【C】状況報告書」に記載のある内容については記入する必要はありません。(→41ページ)

- **Q2** 「【B】診断書」や「【C】状況報告書」に必要な配慮事項が記載されていれば、「【A】受験上の配慮申請書」には希望する配慮事項を記入しなくてもよいですか?
- **A** 記入してください。

希望する配慮事項として審査の対象となるのは、「【A】受験上の配慮申請書」に記載のある事項です。「【A】受験上の配慮申請書」に記入がない場合は、申請事項として扱われないため審査の対象となりません。

- **Q3** 審査の結果、希望する配慮事項が許可されなかった場合に備え、第二希望の配慮事項も申請できますか?
- **A** できます。

申請する配慮事項の第二希望について (→43 ページ) を確認し、「【A】受験上の配慮申請書第3面」の「②その他の希望配慮事項等」(2)欄に具体的に記入してください。

- **Q4** 「【B】診断書」は主治医に書いてもらう必要がありますか?
- A 主治医の診断書である必要はありません。

ただし、「【B】診断書」には、希望する全ての受験上の配慮事項について、それぞれ必要とする 具体的な理由を必ず記入してもらうようにしてください。

- **Q5** 「【C】状況報告書」は高等学校等の校長名で報告する様式になっていますが、卒業見込者以外の者(既卒者等)は、誰に書いてもらえばよいですか?
- ▲ 卒業見込者以外の者の場合、保護者等が高等学校等以外の教育機関等(予備校や塾など)における状況等及び専門家(医師など)の所見を記入してください。保護者以外にも、例えば予備校の講師・職員等など、志願者の学習の状況について具体的に記入できる者が考えられます。
- **Q6** 「受験上の配慮事項審査結果通知書」を受け取りましたが、申請書に記入し忘れていた 事項がありました。追加で申請ができますか?
- ▲ 「【A】受験上の配慮申請書」に記入がなかった事項について、追加で申請することはできません。

ただし、大学入学共通テストの出願後の不慮の事故等(交通事故, 負傷, 発病, 症状の悪化等) のために受験上の配慮が必要になった場合は、追加の申請ができます。(→34 ページ)

また、申請したにもかかわらず、「受験上の配慮事項審査結果通知書」の配慮事項に漏れ等があった場合は、受領日を含め必ず1週間以内に大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に連絡してください。

※ 上記以外にも、受験上の配慮に関する Q&A は、大学入試センターのホームページ(→ 裏表紙)に掲載しています。